

叙勲 受章おめでとうございます

加納 京子さん(桜大門)

このほど、多年にわたり統計調査員として活躍されている加納京子さんが瑞宝単光章を受章されました。

加納さんは、昭和51年から現在にいたるまで、国勢調査や経済センサス等の各種統計調査に従事されてきました。各調査の内容や方法を習熟し、正確で精度の高い調査結果の確保に尽力され、円滑な調査の実施に大きく寄与されたことにより、このたびの受章となりました。



▲瑞宝単光章を受章した加納さん



▲派遣先での活動内容を報告する加納さん

開発途上国の課題解決のために

加納舞香さんJICA海外協力隊派遣

12月5日、町在住の加納舞香さん（下方）が、JICA海外協力隊としてアフリカのウガンダに派遣されることを町長に報告しました。

JICA海外協力隊は、開発途上国で現地の人々とともに生活し、同じ目線で途上国の環境、格差、医療や農業などさまざまな課題解決に貢献する活動を行っています。派遣国のウガンダでアフリカ布など地域の素材を利用した製品づくりや販路開拓の支援に取り組む加納さんは「前職で学んだ商品開発やマーケティングの知識を生かし、現地の収入向上に貢献したい。また、日本の食文化として大野町特産の柿も紹介したい」と話し、町長は「水や電気が不安定な現地での生活は大変かと思いますが、健康に気をつけて頑張ってください。帰国された際に活動の報告を聞けるのを楽しみにしています」と激励しました。

伝統芸能来振太鼓の奉納演奏

来振神社創建1300年祭

11月23日、来振神社創建1300年祭の神事が執り行われました。社伝によると、来振神社は、725年（神亀2年）に創祀され、当初は白山山頂に宮社が建てられましたが、現在は麓に移転されています。

当日は、稲富区長・副区長、来振神社顧問、来振寺住職、歴代の氏子総代関係者などの来賓が参列し、厳粛に執り行われました。また、神事終了後には、来振太鼓保存会による伝統芸能「来振太鼓」の奉納演奏も行われました。



▲奉納演奏をする来振太鼓保存会

災害時の入浴に関する支援を

(株)ケイサービスと大規模災害時における入浴支援に関する協定を締結

12月23日、町は(株)ケイサービスとの間で、大規模災害時における入浴支援に関する協定を締結しました。協定では、(株)ケイサービスが運営する「おおの温泉(相羽)」を、災害により避難所生活をする人や自宅の被害により入浴できない人の入浴施設として利用するための入浴支援について定めています。

大規模災害発生時には、避難生活が長期化し、衛生環境の確保や心身の健康維持が重要な課題となります。

そのような中、今回、地域をよく知る地元事業者である(株)ケイサービスと協定を結ぶことは、より迅速で実効性のある支援体制が構築されるものであり、本町の防災力向上に大きく寄与するものと考えております。

災害時の対応は行政だけでは完結せず、官民が連携してこそ地域の力が最大限に発揮されます。

今後も地域の皆さまとともに安全安心なまちづくりに取り組んでまいります。



防火防災の誓いを新たに

令和8年消防出初式

1月11日、新春を飾る恒例の消防出初式が、総合町民センターにて開催されました。ふれあいホールにて多数の来賓を迎えて行われた式典では、消防活動に功績のあった50人に表彰状、岐阜県消防協会から団に対し表彰が贈られました。また、式典終了後には三水川河畔にて消防団員による一斉放水が行われ、団員のきびきびとした動作に観客から大きな拍手が贈られました。

被表彰者は次のとおりです。(敬称略)



▲記念撮影 (副分団長以上)

岐阜県知事表彰 (勤続功労章)

平野 一也

岐阜県知事表彰 (功労章)

所 龍一 蒲 友貴

町長表彰 (勤労章)

吉田 卓 田中 亮介 大久保宏駿 島田 智博
坪井 昭憲 小笠原 保 村橋 寛 杉山 保仁
河合 俊 稲月 将也



▲一斉放水の様子

岐阜県消防協会長表彰 (表彰賞)

大野町消防団

岐阜県消防協会長表彰 (勤労章 (15年))

平野 一也 清水 博

岐阜県消防協会長表彰 (功績章)

稲月 一至 岩崎 直之 内藤 智仁 岡田 勝幸
川口 真吾 内木 和博 羽賀 諒次 箕浦 祐貴
栞原 和也 鳥本 吉寿 中込 大



▲町長に表彰賞の受賞を報告する様子

揖斐郡消防協会長表彰 (功績章)

田神 聰志 細川 颯 坂 吉将 佐藤 久晃
青木 哲平 河合 佑真 長瀬 圭輝 南谷 匡
後藤 義史 小森 和哉 佐藤 達哉 飯沼 龍
眞鍋 周至 中山 和也 戸高 恭佑 八木 隆宏

団長表彰 (功績章)

清水 駿介 常富 宏哉 浅野 翔多 林 佑哉
矢野 翔平 加納 宏樹 林 剣史 長沼 健司

決意も新たに

大野町二十歳を祝う会

1月11日、総合町民センターにて「大野町二十歳を祝う会」を開催しました。

会場では華やかな振袖やスーツに身を包んだ215人(対象者263人)が集まり、懐かしい友人や恩師との再会、また仲間・家族と記念撮影を笑顔で行う光景が見られました。

式典では、町長や来賓から温かい言葉が贈られ、二十歳の代表野村美緒さんによる「二十歳の決意」を披露しました。後半は二十歳を祝う会実行委員会がアトラクションを行い、会場を盛り上げました。

二十歳を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。



▲「二十歳の決意」を述べる野村さん

全国大会上位入賞 おめでとう

第8回全国ボルダー小学生競技大会 報告会

11月28日、全国ボルダー小学生競技大会（スポーツクライミング）において3位入賞を果たした中小学校4年 柴山未羽さんの報告会を開催しました。

柴山さんは「楽しく競技ができた。登れた時の達成感は大い。大会になると緊張してしまうのが課題」と話し、この大会で得た経験などを語りました。

町長は「3位入賞おめでとう。楽しんで競技ができることはとても良いこと。さらに上の成績を目指して欲しい」と述べました。



▲全国大会で3位入賞を果たした柴山さん

全国での健闘を誓う

全国大会・東海大会出場者 激励会

11月20日「第34回全国小学生バドミントン選手権大会」「第63回全国空手道選手権大会」に出場する選手の激励会を開催しました。

バドミントンに出場する林さんは「強い選手ばかりですが、最後まで諦めず試合をしたい」と強く述べました。

空手の4名の選手は「1回でも多く、勝ち進められるよう頑張りたい」「自分の形に自身をもって、悔いがないようにしたい」「強い選手ばかりですが、勝ち進められるように頑張りたい」「全国大会でも頑張りたい」と堂々と述べました。

町長は「最後まで諦めず、自分のベストを尽くして、勝ち進んで欲しい」と激励しました。

出場する選手は、次のとおりです。（敬称略）

○第34回全国小学生バドミントン選手権大会（個人戦）

北小学校4年 林 愛莉

○第63回全国空手道選手権大会

西小学校5年 河瀬 旭、小林 眞花 4年 河瀬 なな
東小学校1年 若原 幸杜



▲左2番目から若原さん、河瀬旭さん、小林さん、河瀬ななさん、林さん



▲東海大会に出場する林さん

12月12日「第29回東海小学生バドミントン大会（団体）」に出場する北小学校6年 林晃成さんの激励会を開催しました。

林さんは「4回目の東海大会となるので、今までで1番良い成績を残したい」と強く述べました。

町長は「小学生の集大成として今までの経験を活かし、良い成績を残して欲しい」と激励しました。

長寿のお祝い

95歳おめでとうございます
これからも健やかに

後藤 スエさん（黒野）

